

平成31年度予算見積調書

課室名：保健医療政策課

担当名：感染症・新型インフルエンザ対策担当

内線：3572

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B5	感染症重大事案対策事業		一般会計	衛生費	公衆衛生費	予防費	感染症予防費		
事業期間	平成30年度～平成35年度	根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		宣言項目	03 大地震など危機への備えの強化			
					分野施策	020519 感染症対策の強化			
1 事業概要			5 事業説明						
<p>グローバル化の進展や国際的イベントの開催に伴い、重大な感染症が発生し、感染拡大するリスクが高まっている。</p> <p>そこで、県民の健康を守り、感染拡大を防止するとともに、国際的イベントの円滑な開催を支援するため、重大な感染症を迅速に探知・解明できる体制を構築する。</p> <p>(1) 重大感染症早期探知体制の構築 2,386千円 (2) 検査体制の構築 16,396千円 (3) 評価・分析技術の向上 556千円 (4) 診断技能向上研修とネットワークづくり 1,666千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 重大感染症早期探知体制の構築 2,386千円 医療機関が急激な症状が悪化した患者等を診断した場合、速やかに県に報告する。県はリスク評価を行い、状況に応じて原因調査や感染拡大防止の対策を行う。</p> <p>イ 検査体制の構築 16,396千円 医療機関等で検査ができない健康危機事案について、衛生研究所に導入した次世代シーケンサーを活用し原因不明な重大事案を迅速に解明する。</p> <p>ウ 評価・分析技術の向上 556千円 検査結果をだすだけではなく、検査結果と患者の臨床データをあわせ、医療機関の診療において必要な価値あるデータを提供するため、解析結果評価委員会を設立し、検査結果の総合的な評価を行う。</p> <p>エ 診断技能向上研修とネットワークづくり 1,666千円 高い専門性を有する実務者、現場の感染症対策を牽引する指導者を育成する。地域の医療機関の感染症に対する意識を向上させる。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア ラグビーワールドカップ開催期間中+前後に熊谷を中心に実施する。また、オリンピック開催地を中心にベースラインの把握及びプレテストを実施する。</p> <p>イ 衛生研究所に導入した新たな検査技術を活用し、原因不明な事案を迅速に解明できる体制を構築する。</p> <p>ウ 検査結果を評価分析する技術を身に付け、医療機関に必要な価値あるデータを提供できる体制を構築する。</p> <p>エ 感染症を専門とする医療従事者と行政職員に対する研修会及び地域の医療機関に対する研修会を実施する。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 感染拡大前に対応することができ、感染リスクの脅威を軽減し、国際的イベントの円滑な開催の支援ができる。</p> <p>イ 原因不明な事案を迅速に解明することで、県民の健康を守り、県民の不安を解消することができる。</p> <p>ウ 解析結果より医療機関の診断能力が向上され、感染症の早期発見・まん延防止を図ることができる。</p> <p>エ 重大な感染症を早期に発見し感染防止策を講じることで、二次感染及び患者の重症化を防止できる。</p>						
2 事業主体及び負担区分									
<p>(1) (国1/2 県1/2)、(県10/10) (2) (国1/2 県1/2)、(県10/10) (3) (国1/2 県1/2) (4) (国1/2 県1/2)</p>									
3 地方財政措置の状況									
なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×2.0人=19,000千円									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	21,004	国庫支出金	2,121	諸収入	1			18,882	△8,342
前年額	29,346		5,572		1			23,773	